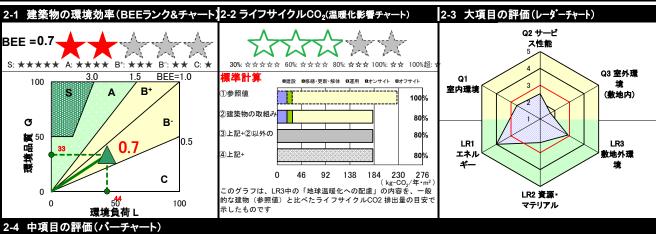
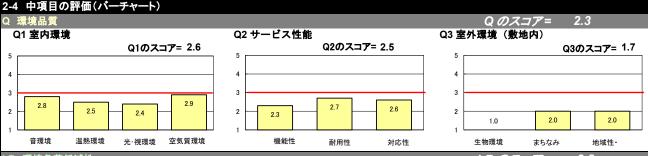


■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)









3 設計上の配慮事項		
総合		その他
BEIが90%以下となるように設計し、省エネルギー化を図っています。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空 気室汚染を回避しています。	居室部分の天井高さを高くとることで、開放感のある空間 となるよう計画しています。	植栽を適度に配置することで、街並みや景観に配慮して います。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建具に複層ガラスを採用して、省エネ化を図っています。 す。	外壁、屋根などについて、仕分けがしやすいように配慮しています。	屋外物照明を行っていません。

- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される